

# 少子化対策に関する市職員意見募集の結果 報告書

平成27年(2015年)11月

吹田市

#### ◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- 個別に四捨五入しているグラフと合算で四捨五入しているグラフがあり、数値が一致しない場合がある。
- グラフ中のNは構成比を表示する際の母数を示す。
- 図表中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

## 目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果	2
I. 自身のことについて	2
(1) 年齢について	2
(2) 性別について	2
(3) 雇用形態	2
(4) 未婚・既婚等の状況	3
(5) 子どもの人数	3
II. 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいか	4～22
参考資料	23
資料1 アンケート調査票	24
資料2 単純集計結果	25
資料3 自由意見の分析結果	26～28

# 1. 調査の概要

---

## (1)調査目的

若い世代が安心して就労し、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現できるような環境を整備するための施策を検討していくため、市職員を対象に意見募集を行い、子育て世代が望むサポートを把握することを目的とする。

## (2)調査方法

Web アンケート機能を利用し、全職員を対象に意見募集を実施

## (3)調査項目

- ① 本人について
- ② 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるために望むサポートについて

## (4)調査期間

平成27年9月11日(金)～10月2日(金)

## (5)回収結果

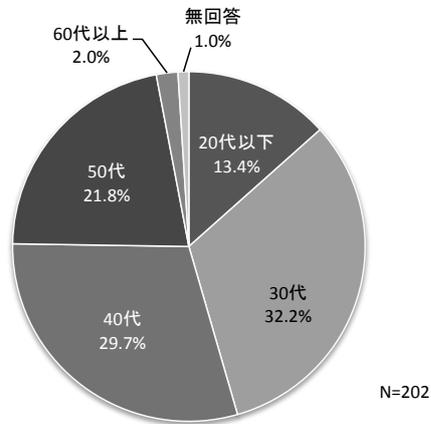
回収数 202 人から 471 件の意見取得

## 2. 調査結果

(1) あなた御自身のことについて、お答えください。(項目ごとに1つ〇)

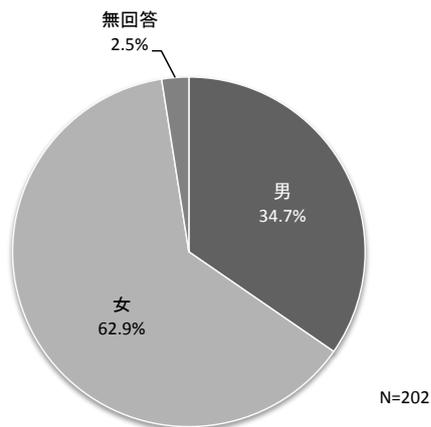
### 【年齢】

30代(32.2%)が最も多く、40代(29.7%)、50代(21.8%)が続いている。



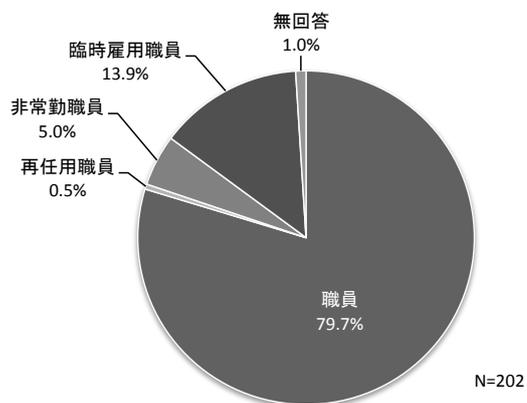
### 【性別】

女性が62.9%、男性が34.7%で、女性が男性に比べ多い。



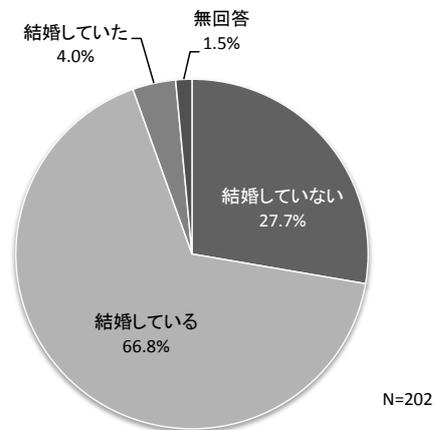
### 【雇用形態】

「職員」(79.7%)が最も多く、約8割を占めており、他を大きく上回っている。



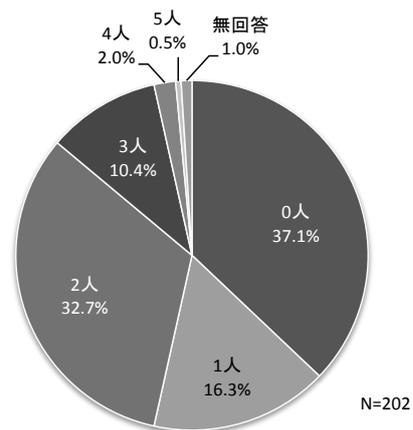
### 【未婚・既婚等の状況】

「結婚している」(66.8%)が最も多く、「結婚していない」(27.7%)、「結婚していた」(4.0%)を大きく上回っている。



### 【子どもの人数】

「0人」(37.1%)が最も多く、「2人」(32.7%)、「1人」(16.3%)が続いている。



(2) どのようなサポートがあれば、子どもを生み、育てたい(生み、育てたかった)と思いますか。また、市民が結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるにはどのようなサポートがあればよいと考えますか。(自由記述)

#### 少子化対策に対する要望・提案の把握

自由意見の総件数は471件であった。

まず、文章化されている自由意見からキーワードとなる単語を抽出し、カテゴリー別に集計した。

カテゴリーは「保育園、預かり施設」(96件)、「職場の体制」(95件)、「出産、医療、教育への支援(経済支援)」(75件)、「行政の関わり方(行政)」(31件)、「子育て施設、公園等」(21件)、「病児保育」(14件)、「協働の子育て環境づくり(環境づくり)」(12件)、「雇用条件の向上(雇用形態)」(12件)、「居住面支援」(12件)、「相談窓口」(11人)、「学童保育」(10人)、「出会いの機会創出」(9件)、「イベント・集い」(8件)、「情報発信」(8件)、「賃金」(8件)、「不妊治療」(7件)、「就労支援」(7件)、「教育面支援」(7件)、「学校等施設」(5件)、「結婚・育児の考え方」(5件)、「地域の支援」(5件)、「医療」(3件)、「学校教育」(3件)、「身内の支援」(3件)、「安全対策」(2件)、「教育現場支援」(2件)である。

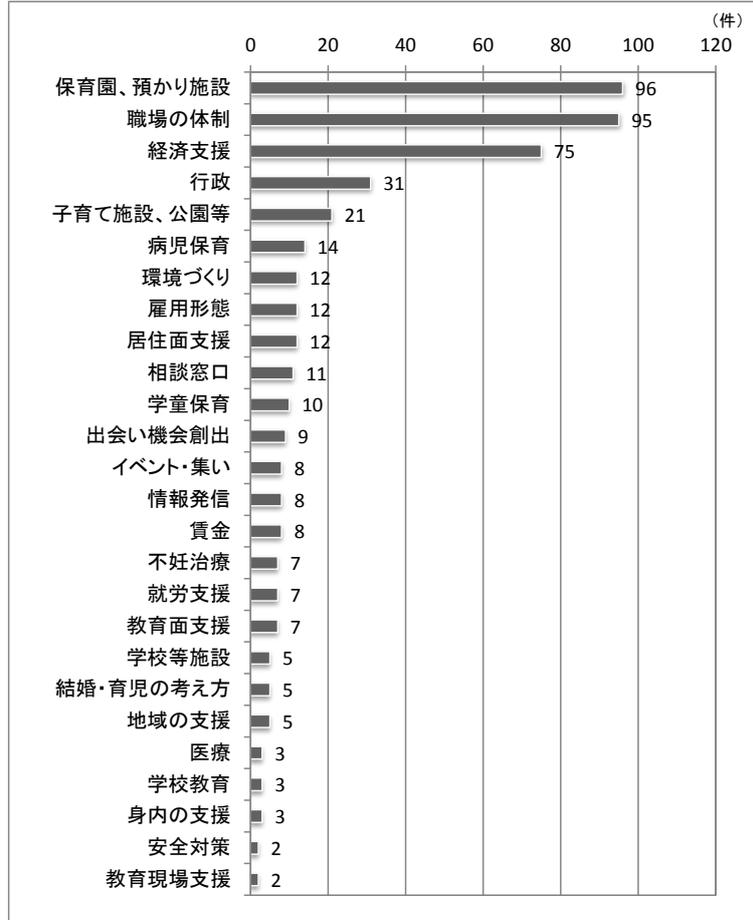
多くの回答者が挙げたのは「保育園、預かり施設」、「職場の体制」、「出産、医療、教育への支援」についての要望・提案であった。

「保育園、預かり施設」では、「保育所に入ることができない」といった保育所増設を求める内容が多くみられた。

「職場の体制」では「育児休暇等を思ったように取ることができない」など、職場における人員不足解消を求める内容が多くみられた。

「出産、医療、教育への支援」では、出産・育児費用、医療費、教育費のサポートの他、保育料の是正、税金での優遇措置等を望む内容がみられた。

【全体】



クロス集計による回答者属性別の問題意識

次に、分類したカテゴリーに対して、回答者の属性(年齢、性別、未婚・既婚等の状況、子どもの人数)についてのクロス集計を行った。

クロス集計を行うにあたり、データを数値化(記述あり:1、記述なし:0)し、回答数が5名以下のカテゴリーは除くようにした。すると、以下のとおり16項目に絞り込むことができた。

【分析に用いた16項目】

保育園、預かり施設	居住面支援
病児保育	出産、医療、教育への支援(経済支援)
子育て施設、公園等	雇用条件の向上(雇用形態)
イベント・集い	賃金
学童保育	職場の体制
教育面支援	相談窓口
行政の関わり方(行政)	情報発信
協働の子育て環境づくり(環境づくり)	出会い機会創出

また、属性については調査数にばらつきがあるため、年齢においては50代と60代以上の2群をまとめて「50代以上」とし、子どもの人数においては3人、4人、5人以上の3群をまとめて「3人以上」とした。

集計では、有意差の有無についてカテゴリーごとに検定をおこなっている。

<年齢別>

「子育て施設、公園等」、「イベント・集い」、「行政の関わり方」について有意な差が認められた。

40代は他の年代に比べ「子育て施設、公園等」が高い。

50代以上は他の年代に比べ「イベント・集い」、「行政の関わり方」が高い。

<性別>

「子育て施設、公園等」、「賃金」について有意な差が認められた。

男性は女性に比べ「賃金」が高い。

女性は男性に比べ「子育て施設、公園等」が高い。

<未婚・既婚等の状況別>

「子育て施設、公園等」、「居住面支援」について有意な差が認められた。

結婚していた人は他に比べ「子育て施設、公園等」、「居住面支援」が高い。

<子どもの人数別>

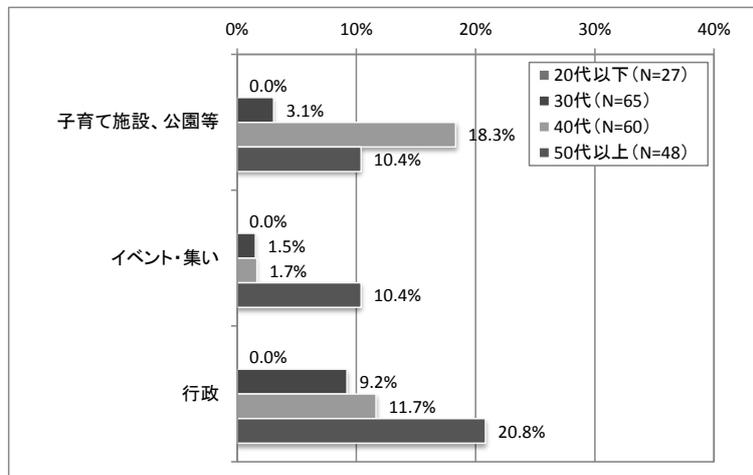
「保育園、預かり施設」、「子育て施設、公園等」、「教育面支援」について有意な差が認められた。

子どもの人数が1人の人は他に比べ「保育園、預かり施設」が高い。

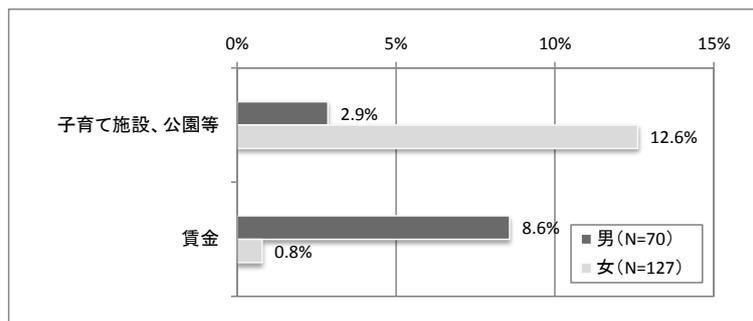
子どもの人数が2人の人は他に比べ「子育て施設、公園等」が高い。

子どもの人数が3人以上の人は他に比べ「教育面支援」が高い。

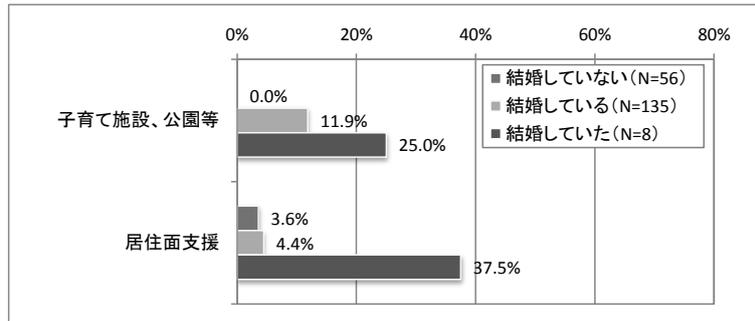
【年齢別】



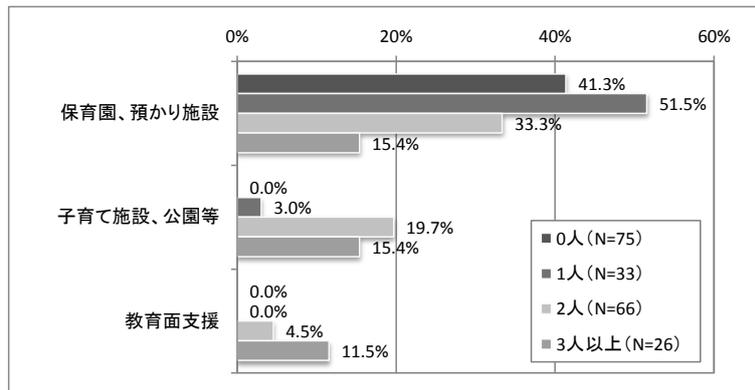
【性別】



【未婚・既婚等の状況別】



【子どもの人数別】



<分析のまとめ>

クロス集計の結果をまとめると以下のとおりである。

年代別では、40代は「子育て施設、公園等」、50代以上は「イベント・集い」、「行政の関わり方」の問題意識が高かった。

性別では、男性は「賃金」、女性は「子育て施設、公園等」の問題意識が高かった。

未婚・既婚等の状況別では、結婚していた人は「子育て施設、公園等」、「居住面支援」の問題意識が高かった。

子どもの人数別では、1人は「保育園、預かり施設」、2人は「子育て施設、公園等」、3人以上の人は「教育面支援」の問題意識が高かった。

## 数量化Ⅲ類による少子化における問題意識の構造と属性別の意識構造

少子化における問題意識の構造を把握するために、数量化Ⅲ類を適用した。

数量化Ⅲ類は多変量解析の1つの手法である。多変量解析は大きく2つの手法に分けられる。原因から結果を予測する手法と、類似する関係を明確化する要約の手法である。数量化Ⅲ類は要約の手法にあたり、質的データを扱う。数量化Ⅲ類による解析をおこなうことで、設問間の類似度を調べることができる。解析の方法は、質問間、サンプル間等での類似度を得点化し、それぞれの類似度をポジショニングマップとしてグラフ化する。このグラフにより、“類似しているもの”と“類似していないもの”の関連が明示される。

### 【多変量解析の種類】

目的変数＝従属変数		説明変数＝独立変数		多変量解析の目的	
		量的	質的		
あり	量的	重回帰分析	数量化Ⅰ類	量の推定	予測
	質的	判別分析	数量化Ⅱ類	質の推定	
なし		主成分分析	数量化Ⅲ類 数量化Ⅳ類	多変量の統合整理	要約
		因子分析		変量の分類	
		MDS(多次元尺度構成法)		代表変量の発見	

まず、カテゴリーの関係性について解析を行った。

数量化Ⅲ類の結果から、寄与率の高い次元1と次元2(散布図の軸)を用い、得点散布図を作成した。図上では、類似度の高いカテゴリーは近く、低いカテゴリーは離れて表示されている。

カテゴリースコアをもとに次元の解釈を行った。

次元1(横軸)は、上位のカテゴリーが「雇用条件の向上」、下位が「賃金」、「病児保育」、「子育て施設、公園等」、「教育面支援」となっている。下位は家庭への精神的な負担を解消するものとして捉える。これに対し、上位は生活を安定させる経済状態と見なした。したがって、次元1を「経済的安定、精神的安定」と解釈した。

次元2(縦軸)は、上位のカテゴリーが「出会い機会の創出」、下位が「教育面支援」、「病児保育」、「協働の子育て環境づくり」となっている。下位は子どもの年齢が高くなると必要な支援と捉える。これに対し、上位は結婚に必要な支援と見なした。したがって、次元2を「結婚、子育て」と解釈した。

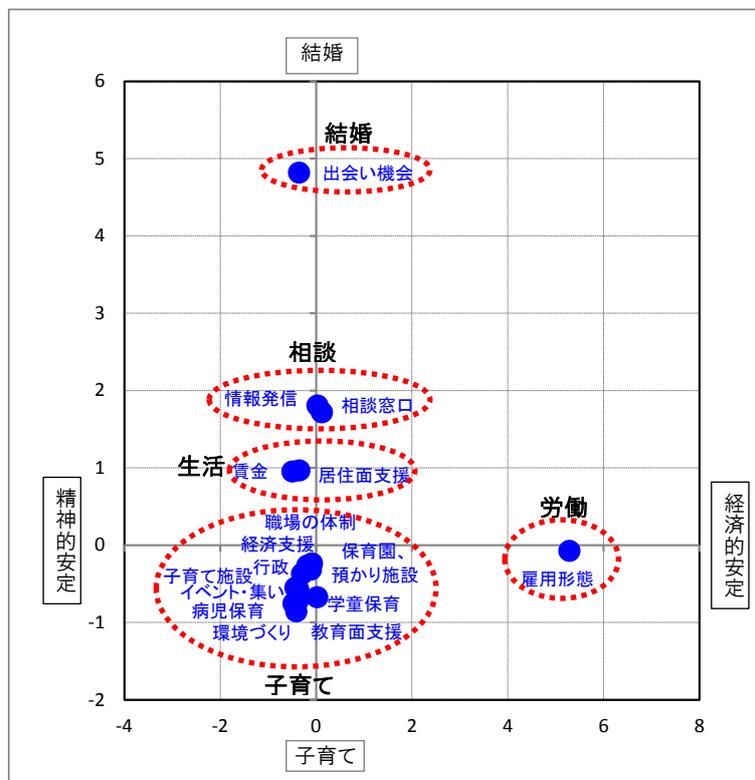
散布図から、カテゴリーを「結婚」、「相談」、「生活」、「子育て」、「労働」という5つのグループに分類することができた。

「子育て」グループに問題意識が集中している。さらに、子育てに対する直接的な支援の他に、気兼ねなく産休・育休・時短などを使える職場の体制が整っていることが求められている。

【数量化Ⅲ類の次元1、次元2におけるカテゴリースコア】

カテゴリー名	次元 1	カテゴリー名	次元 2
雇用条件の向上(雇用形態)	5.2867	出会い機会の創出	4.8187
相談窓口	0.1195	情報発信	1.8085
情報発信	0.0269	相談窓口	1.7206
学童保育	0.0218	居住面支援	0.968
保育園、預かり施設	-0.0845	賃金	0.9535
出産、医療、教育への支援(経済支援)	-0.1073	雇用条件の向上(雇用形態)	-0.0744
職場の体制	-0.1822	保育園、預かり施設	-0.2339
行政の関わり方(行政)	-0.2929	職場の体制	-0.2649
居住面支援	-0.3518	出産、医療、教育への支援(経済支援)	-0.3157
出会い機会の創出	-0.3585	行政の関わり方(行政)	-0.3684
イベント・集い	-0.3746	子育て施設、公園	-0.5487
協働の子育て環境づくり(環境づくり)	-0.3854	イベント・集い	-0.5727
教育面支援	-0.4157	学童保育	-0.6712
子育て施設、公園	-0.4331	協働の子育て環境づくり(環境づくり)	-0.7216
病児保育	-0.4684	病児保育	-0.7545
賃金	-0.4946	教育面支援	-0.855

【次元1(横軸)、次元2(縦軸)による得点散布図】



次に、カテゴリーと属性の関係性を明らかにするため、数量化Ⅲ類による解析を行った。

<年齢別>

前述の分析と同様に、カテゴリースコアから次元を解釈した。

次元 1 は、上位のカテゴリーが「病児保育」、下位が「出会い機会の創出」となっている。下位はソフト面での支援が必要なもの、上位はハード面での支援が必要なものと見なした。したがって、次元 1 を「ハードとソフト」と解釈した。

次元 2 は、上位のカテゴリーが「賃金」、下位が「イベント・集い」、「出会い機会の創出」となっている。下位は市の取り組みで改善できるもの、上位は社会的な動きが必要なものと見なした。したがって、次元 2 を「民間関与と公共関与」と解釈した。

散布図から、各年代とカテゴリーの類似性をみた。

30代は「情報発信」、「相談窓口」、「雇用条件の向上」、「居住面支援」、「保育園、預かり施設」、「出産、医療、教育への支援」と近い。

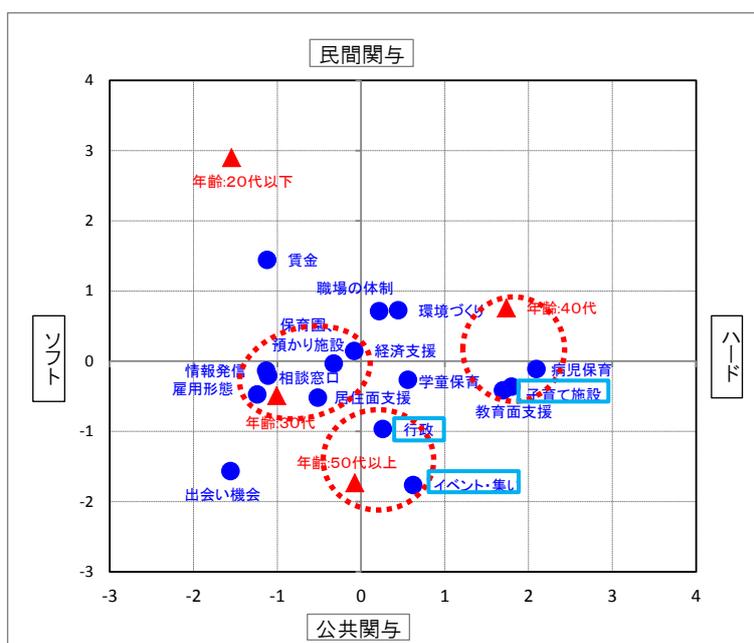
40代は「病児保育」、「子育て施設、公園」、「教育面支援」が近い。

50代以上は「イベント・集い」、「行政の関わり方」と近い。

【数量化Ⅲ類の次元1、次元2におけるカテゴリースコア】

アイテム名	カテゴリー名	次元 1	アイテム名	カテゴリー名	次元 2
第1群	病児保育	2.0952	第1群	賃金	1.4393
	子育て施設、公園	1.7994		協働の子育て環境づくり(環境づくり)	0.7218
	教育面支援	1.6973		職場の体制	0.7102
	イベント・集い	0.6256		出産、医療、教育への支援(経済支援)	0.1416
	学童保育	0.5609		保育園、預かり施設	-0.0352
	協働の子育て環境づくり(環境づくり)	0.4448		病児保育	-0.1157
	行政の関わり方(行政)	0.261		情報発信	-0.1382
	職場の体制	0.2172		相談窓口	-0.2078
	出産、医療、教育への支援(経済支援)	-0.0793		学童保育	-0.2689
	保育園、預かり施設	-0.3231		子育て施設、公園	-0.3647
	居住面支援	-0.5126		教育面支援	-0.4176
	相談窓口	-1.1071		雇用条件の向上(雇用形態)	-0.4779
	賃金	-1.1183		居住面支援	-0.5235
	情報発信	-1.1297		行政の関わり方(行政)	-0.9694
	雇用条件の向上(雇用形態)	-1.237		出会い機会の創出	-1.5672
第2群	出会い機会の創出	-1.5548	第2群	イベント・集い	-1.7685
	年齢:40代	1.7355		年齢:20代以下	2.8981
	年齢:50代以上	-0.0739		年齢:40代	0.7568
	年齢:30代	-1.0047		年齢:30代	-0.4939
	年齢:20代以下	-1.5441		年齢:50代以上	-1.7353

【次元1(横軸)、次元2(縦軸)による得点散布図】



<性別>

カテゴリースコアから次元を解釈した。

次元 1 は、上位のカテゴリーが「賃金」、下位が「雇用条件の向上」、「子育て施設、公園等」、「イベント・集い」となっている。下位は子育てに必要なもの、上位は結婚に必要なものと見なした。したがって、次元 1 を「結婚と子育て」と解釈した。

次元 2 は、上位のカテゴリーが「雇用条件の向上」、下位が「協働の子育て環境づくり」、「学童保育」、「教育面支援」となっている。下位は市の取り組みで改善できるもの、上位は社会的な動きが必要なものと見なした。したがって、次元 2 を「民間関与と公共関与」と解釈した。

散布図から、性別とカテゴリーの類似性をみた。

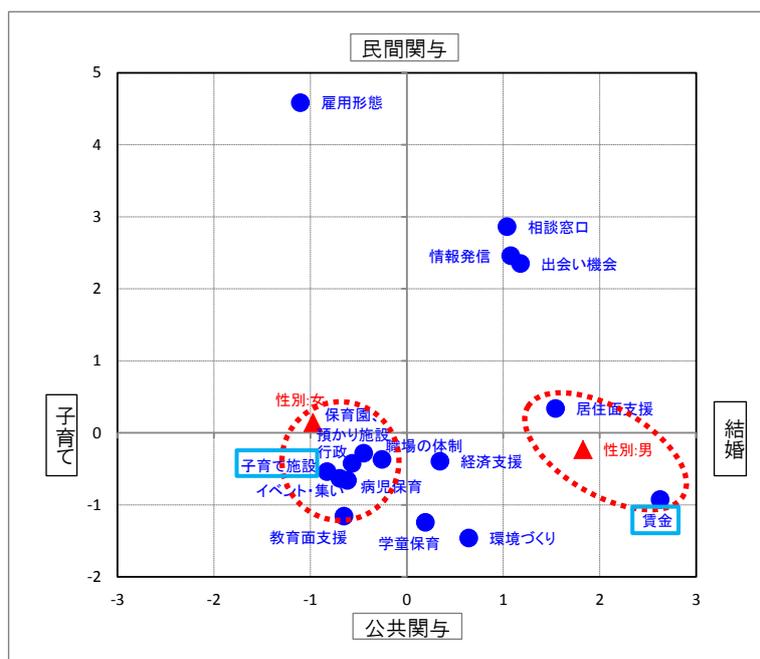
男性は「居住面支援」、「賃金」と近い。

女性は「保育園、預かり施設」、「行政の関わり方」、「子育て施設、公園等」、「イベント・集い」、「病児保育」、「職場の体制」、「教育面支援」と近い。

【数量化Ⅲ類の次元1、次元2におけるカテゴリースコア】

アイテム名	カテゴリー名	次元 1	アイテム名	カテゴリー名	次元 2
第1群	賃金	2.6283	第1群	雇用条件の向上(雇用形態)	4.5815
	居住面支援	1.5449		相談窓口	2.8596
	出会い機会の創出	1.1801		情報発信	2.4583
	情報発信	1.0806		出会い機会の創出	2.3476
	相談窓口	1.0423		居住面支援	0.3343
	協働の子育て環境づくり(環境づくり)	0.6454		保育園、預かり施設	-0.285
	出産、医療、教育への支援(経済支援)	0.3454		職場の体制	-0.3715
	学童保育	0.1951		出産、医療、教育への支援(経済支援)	-0.3988
	職場の体制	-0.2553		行政の関わり方(行政)	-0.4274
	保育園、預かり施設	-0.4451		子育て施設、公園	-0.5417
	行政の関わり方(行政)	-0.5646		イベント・集い	-0.6338
	病児保育	-0.6126		病児保育	-0.6621
	教育面支援	-0.65		賃金	-0.928
	イベント・集い	-0.6932		教育面支援	-1.1579
子育て施設、公園	-0.8254	学童保育	-1.2459		
雇用条件の向上(雇用形態)	-1.1009	協働の子育て環境づくり(環境づくり)	-1.4639		
第2群	性別:男	1.8276	第2群	性別:男	-0.2327
	性別:女	-0.9731		性別:女	0.1398

【次元1(横軸)、次元2(縦軸)による得点散布図】



<未婚・既婚等の状況別>

カテゴリースコアから次元を解釈した。

次元 1 は、上位のカテゴリーが「雇用条件の向上」、下位が「子育て施設、公園」、「教育面支援」となっている。下位は市の取り組みで改善できるもの、上位は社会的な動きが必要なものと見なした。したがって、次元 1 を「民間関与と公共関与」と解釈した。

次元 2 は、上位のカテゴリーが「出会い機会の創出」、「相談窓口」、「情報発信」、下位が「協働の子育て環境づくり」、「学童保育」、「雇用条件の向上」となっている。下位は直接的に支援できるもの、上位は間接的に支援できるものと見なした。したがって、次元 2 を「間接支援と直接支援」と解釈した。

散布図から、未婚・既婚等の状況とカテゴリーの類似性をみた。

結婚していない人は「賃金」と近い。

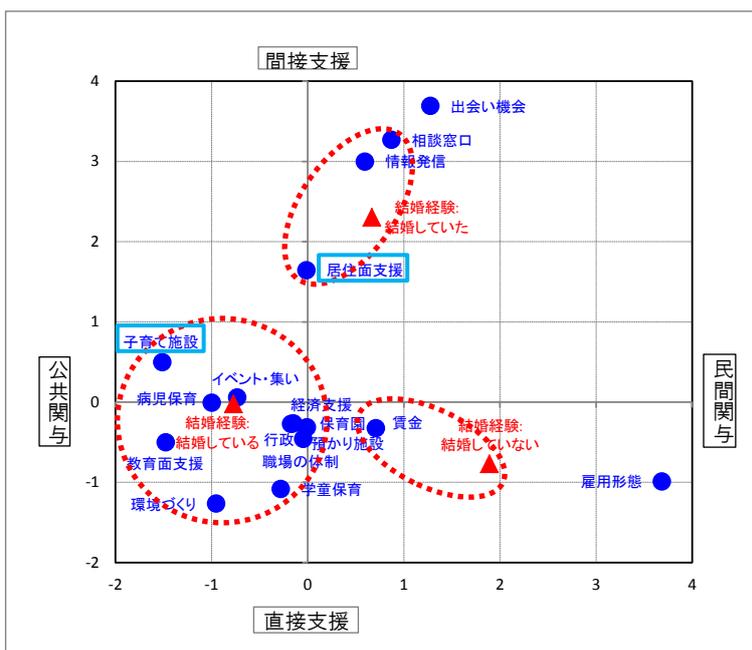
結婚している人は「イベント・集い」、「病児保育」、「教育面支援」、「協働の子育て環境づくり」、「学童保育」、「職場の体制」、「保育園、預かり施設」、「行政の関わり方」、「出産、医療、教育への支援」、「子育て施設、公園等」と近い。

結婚していた人は「情報発信」、「相談窓口」、「居住面支援」と近い。

【数量化Ⅲ類の次元1、次元2におけるカテゴリースコア】

アイテム名	カテゴリー名	次元 1	アイテム名	カテゴリー名	次元 2
第1群	雇用条件の向上(雇用形態)	3.685	第1群	出会い機会の創出	3.6894
	出会い機会の創出	1.2789		相談窓口	3.2676
	相談窓口	0.8729		情報発信	2.9959
	賃金	0.7105		居住面支援	1.6422
	情報発信	0.597		子育て施設、公園	0.495
	保育園、預かり施設	-0.0062		イベント・集い	0.0558
	居住面支援	-0.0103		病児保育	-0.0096
	職場の体制	-0.0433		出産、医療、教育への支援(経済支援)	-0.2684
	出産、医療、教育への支援(経済支援)	-0.1457		行政の関わり方(行政)	-0.2728
	行政の関わり方(行政)	-0.1714		保育園、預かり施設	-0.3162
	学童保育	-0.2772		賃金	-0.3275
	イベント・集い	-0.7304		職場の体制	-0.4616
	協働の子育て環境づくり(環境づくり)	-0.9491		教育面支援	-0.5029
	病児保育	-0.9943		雇用条件の向上(雇用形態)	-0.9928
	教育面支援	-1.4738		学童保育	-1.0864
子育て施設、公園	-1.5097	協働の子育て環境づくり(環境づくり)	-1.2681		
第2群	結婚経験:結婚していない	-1.8922	第2群	結婚経験:結婚していない	-0.7706
	結婚経験:結婚している	-0.7719		結婚経験:結婚している	-0.024
	結婚経験:結婚していた	0.6677		結婚経験:結婚していた	2.3014

【次元1(横軸)、次元2(縦軸)による得点散布図】



<子どもの人数別>

カテゴリースコアから次元を解釈した。

次元 1 は、上位のカテゴリーが「教育面支援」、下位が「雇用条件の向上」となっている。下位は子どもの年齢が高くなると必要になるものと見なした。したがって、次元 1 を「子どもの年齢が高い、子どもの年齢が低い」と解釈した。

次元 2 は、上位のカテゴリーが「居住面支援」、下位が「雇用条件の向上」となっている。下位は市の取り組みとして短期に効果が期待できるもの、上位は長期的取り組みが必要ものと見なした。したがって、次元 2 を「即効性と遅効性」と解釈した。

散布図から、子どもの人数とカテゴリーの類似性をみた。

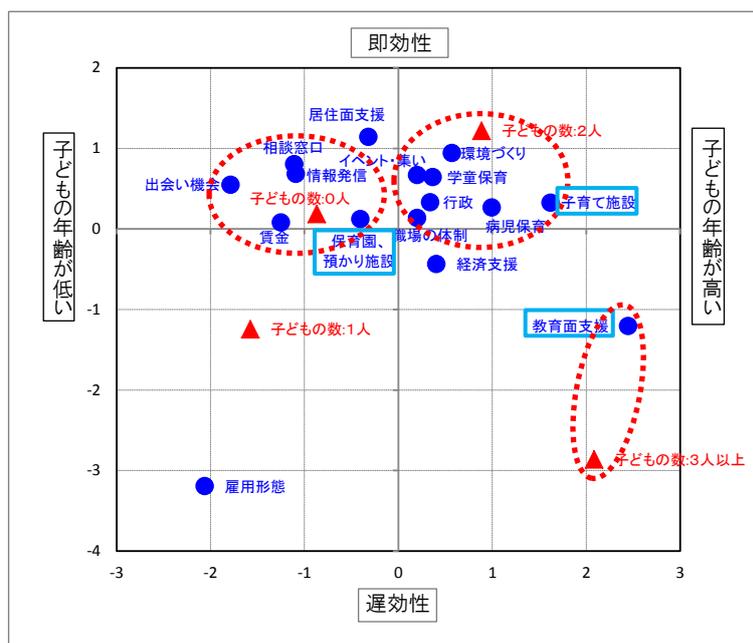
子どもが 0 人の人は「賃金」、「保育園、預かり施設」、「情報発信」、「相談窓口」、「出会い機会の創出」に近い。

子どもが 2 人の人は「協働の子育て環境づくり」、「イベント・集い」、「学童保育」、「行政の関わり方」、「病児保育」、「職場の体制」、「子育て施設、公園等」に近い。

【数量化Ⅲ類の次元1、次元2におけるカテゴリースコア】

アイテム名	カテゴリー名	次元 1	アイテム名	カテゴリー名	次元 2
第1群	教育面支援	2.4487	第1群	居住面支援	1.1406
	子育て施設、公園	1.6214		協働の子育て環境づくり(環境づくり)	0.9409
	病児保育	0.9965		相談窓口	0.8035
	協働の子育て環境づくり(環境づくり)	0.5714		情報発信	0.6819
	出産、医療、教育への支援(経済支援)	0.4068		イベント・集い	0.668
	学童保育	0.3659		学童保育	0.6424
	行政の関わり方(行政)	0.3398		出会い機会の創出	0.5478
	イベント・集い	0.2015		行政の関わり方(行政)	0.3295
	職場の体制	0.2004		子育て施設、公園	0.3254
	居住面支援	-0.3182		病児保育	0.2651
	保育園、預かり施設	-0.4026		職場の体制	0.1346
	情報発信	-1.091		保育園、預かり施設	0.1206
	相談窓口	-1.1071		賃金	0.0784
	賃金	-1.248		出産、医療、教育への支援(経済支援)	-0.4377
第2群	出会い機会の創出	-1.785	第2群	教育面支援	-1.2058
	雇用条件の向上(雇用形態)	-2.0611		雇用条件の向上(雇用形態)	-3.196
	子どもの数:0人	-0.8684		子どもの数:0人	0.1867
	子どもの数:1人	-1.5746		子どもの数:1人	-1.2469
	子どもの数:2人	0.8858		子どもの数:2人	1.2176
	子どもの数:3人以上	2.0844		子どもの数:3人以上	-2.8614

【次元1(横軸)、次元2(縦軸)による得点散布図】



<分析のまとめ>

問題意識の構造は「結婚」、「相談」、「生活」、「子育て」、「労働」の5つに分類され、子育てには職場の体制が大きく関わっていると考えられる。

年齢別では、30代は「情報発信」、「相談窓口」、「雇用条件の向上」、「居住面支援」、「保育園、預かり施設」、「出産、医療、教育への支援」と近く、40代は「病児保育」、「子育て施設、公園」、「教育面支援」と近く、50代以上は「イベント・集い」、「行政の関わり方」と近い。

性別では、男性は「居住面支援」、「賃金」と近く、女性は「保育園、預かり施設」、「行政の関わり方」、「子育て施設、公園等」、「イベント・集い」、「病児保育」、「職場の体制」、「教育面支援」と近い。

未婚・既婚等の状況別では、結婚していない人は「賃金」と近く、結婚している人は「イベント・集い」、「病児保育」、「教育面支援」、「協働の子育て環境づくり」、「学童保育」、「職場の体制」、「保育園、預かり施設」、「行政の関わり方」、「出産、医療、教育への支援」、「子育て施設、公園等」と近く、結婚していた人は「情報発信」、「相談窓口」、「居住面支援」と近い。

子どもの人数別では、子どもが0人の人は「賃金」、「保育園、預かり施設」、「情報発信」、「相談窓口」、「出会い機会の創出」が近く、子どもが2人の人は「協働の子育て環境づくり」、「イベント・集い」、「学童保育」、「行政の関わり方」、「病児保育」、「職場の体制」、「子育て施設、公園等」と近い。

## 自由記述の分析のまとめ

### <クロス集計と数量化Ⅲ類の結果の比較>

年齢別では、クロス集計の結果から、40代は「子育て施設、公園等」、50代以上は「イベント・集い」、「行政の関わり方」の回答率が高いことがわかった。数量化Ⅲ類でも、他の年代よりも40代が「子育て施設、公園等」と近く、50代以上が「イベント・集い」、「行政の関わり方」と近くなっており、結果に共通性が認められた。

性別では、クロス集計の結果から、男性は「賃金」、女性は「子育て施設、公園等」の回答率が高いことがわかった。数量化Ⅲ類でも、男性は「賃金」、女性は「子育て施設、公園等」と近く、結果に共通性が認められた。

未婚・既婚等の状況別では、クロス集計の結果から、結婚していた人は「子育て施設、公園等」、「居住面支援」の回答率が高いことがわかったが、数量化Ⅲ類では、結婚していた人は「居住面支援」と近く、結果に一部共通性が認められた。

子どもの人数別では、クロス集計の結果から、1人の人は「保育園、預かり施設」、2人の人は「子育て施設、公園等」、3人以上の人は「教育面支援」の回答率が高いことがわかった。数量化Ⅲ類では、0人と1人の人は「保育園、預かり施設」と、2人の人は「子育て施設、公園等」と、3人以上の人は「教育面支援」と近くなっており、結果に概ね共通性が認められた。

### <まとめ>

- 少子化対策に対する要望・提案として多く挙げられたのは、「保育園、預かり施設」、「職場の体制」、「出産、医療、教育への支援」である。
- 問題意識の構造は「結婚」、「相談」、「生活」、「子育て」、「労働」の5つに分類され、子育てには子育てに関する直接的支援のみならず、職場の体制が大きく影響している。
- 20代以下と30代は全体の傾向と同様であり、40代は他の年代に比べ「子育て施設、公園等」の問題意識が高く、50代以上は「イベント・集い」、「行政の関わり方」の問題意識が高い。
- 男性は「賃金」の問題意識が高く、女性は「子育て施設、公園等」の問題意識が高い。
- 結婚している人は全体的に問題意識が高いが、結婚していた人は「子育て施設、公園等」、「居住面支援」の問題意識が高い。
- 子どもの人数が1人の人は「保育園、預かり施設」、2人の人は「子育て施設、公園等」、3人以上の人は「教育面支援」の問題意識が高い。

【主な回答内容】

カテゴリー	件数	主な回答内容
保育園、預かり施設	96	みんなが希望した園に入れるような整備が必要
		配慮の必要な子どももきちんと預けられるように公立保育園を残すべき
		地域との連携や支援体制の整った地域のネットワークの役割をもつ公立保育園は今のまま残すべき
		一時預かり事業が吹田市全域で利用できるようになることが必要
		乳児をあずかってくれる施設が少ない。
		民営化、幼保一体化で待機児解消にはならないと思う。
		公的保育をしっかりとされることで、私立の保育も向上されていく。
		保育士の確保
		認定こども園や小規模にはあまり預けたいと感じない。
		保育施設やファミリー・サポート・センター事業など、働きながら子育てをしている家庭へのサポートも必要
		仕事で遅くなったとき、帰宅が23時や24時になっても子育てを助けてもらえるような事業が必要
		4年生から子どもだけで留守番をさせることが心配
		社会とのつながりを持てるような市民対象の講座や来庁しての各種の手続きには、必ず保育が必要
		公立幼稚園を3年教育にし、保護者の幼児教育の選択肢に公立幼稚園を加えることが必要。公立幼稚園が3年教育にしている他都市では、私立幼稚園が積極的に4年教育を実施するようになるため、保護者の選択肢がさらに広がる可能性がある
		残業等で18時から20時くらいまでの預かり場所(おばちゃんち的な頼れる場所)があれば、出産・子育てしながら就労しやすかった
		保育園に通うには正社員でないと預けられないのは、公平公正か。正社員以外の方の社会へ出る機会を奪い、また育児の負担から2人目以降の子育てをするのを回避してしまっているのでは。
		もっと公平に保育所に受け入れられる基準(共働き世帯も同じに扱う)に変わってほしい。隠れ待機児童を把握し、その対策ができれば、吹田のポテンシャルは高いので、転入も含め有効な少子化対策になるのではないか
		夫婦とも実家が遠く、いざという時に子どもを預かってもらえる環境がない。(一時預かりを実施している園もあるが、申し込み方法、利用制限が複雑)
		子どもを預ける場所に、保育園や留守家庭児童育成室がありますが、通わせられなかった。親としては、もっと柔軟な対応をしてくださると助かる
		保育料が高すぎるという意見をよく聞く。
		非正規雇用でも入園しやすい保育所体制にしてほしい
		働いている人にとっては安心して預けられるところが必要。小規模保育所は、質的には心配
		保育園見学がいつでもできる体制にすること
		公立保育園の民営化は、社会福祉法人に限定する
		子育て事業に株式会社の営利目的が参入すると、現在の介護保険制度の施設における事故や犯罪等が危惧される
		家庭内保育を市の制度とし紹介する
		これまでの、市の保育園及び学童保育の考え方を転換し、事故無く怪我無く子どもを預かる
		第2子の育休中、第1子を保育所に預けることができれば。
保育園の増設。民間園建設ができるように土地提供などを行政が積極的にすすめる。		

カテゴリー	件数	主な回答内容
職場の体制	95	育児休暇も職場に負担をかけてしまうので、こどもをもう1人と考えられるかと言われると前向きに考えにくい。十分な職員体制を保障してほしい。
		その時どきの状況によって働く時間を変えていけたらよいと思う。
		子育て中でも突発の休みが入ると大変。その体制がうまくとれたらいい。人がほしい。養子で育休がもらえたら、養子ももらいたいと思う。
		育児休職が3年とれる職場になれば。
		こどもが2人目以降でいいから、時短が3年間とれるといい。3歳ぐらいまで、ワーキングシェアする形で、週3日ずつ出勤等があると仕事も続けられる。
		短時間勤務が選べて、夜は子どもと過ごせる時間がとれたり、病気の時は休暇がとれるなど休暇がとりやすくなるようなサポート(小学生までは必要)
		産前、産後休暇、育児休暇をとれるように、正規職員を配置してほしい。
		子育て中は保育所等の送迎で残業がしにくい。制度として、定時で退庁できる雇用形態等があればよい。
		残業が常態化していたら(共働きなら特に)やっぱり子育てが難しくなるので、定員管理をきちんとして、残業時間数を平準化してほしい。
		職場に保育所を作ってほしい。
		男性・女性に関わらず、子育て支援制度(育児休暇など)を使いやすい職場づくりが必要
		男性職員は残業するのがあたりまえ、女性職員は子どもがいるから帰ってよしという雰囲気は、男性職員と女性職員の間で亀裂が生まれる。
		子どもは二人欲しかったが、異動になり、二人目どころではなく、妊娠・出産適齢期を過ぎようとしている。子どもが小さい時の異動は、本人の希望も聞いてほしい。
		子どもに持病や障がいがある場合に多く休める等の仕組みがあればよい。
		職員が少なく、祖父母の援助を受けながら残業をすることが当たり前のこととしてとらえられることに疑問を感じる。
		産休、育休取得中は臨時雇用員対応でなく、1年以上は正職員対応ができるように、職員体制を変えるべきでは。取得者が少しでも気を使わず、子育てに専念できる。
		女性が多い職場なのでいつでも妊娠していいわけではないが、生む時期をコントロールできるものではない。職員体制を保障したなかで権利としていつでも妊娠できる保障をしてほしい。
		病後児だけでもよいので職場内保育があれば
		保育園・学童保育が開いていない、日曜・祝日に恒常的な勤務がある職員に対する配慮。(回数を少なくするまたは免除するための人員配置)
		定型業務を非常勤職員や臨時雇用員が担うように再構築された職場で、さらに産育休の代替も臨時雇用員しか配置されないのでは、業務に支障が生じる。休暇等を充実させるだけでなく、周囲に過重な負担がかからないような人員配置を行うことが結果として、周囲の理解も得られ、子育て中の職員にとっても子育てしやすくなるのでは。
出産、医療、教育への支援 (経済支援)	75	妊娠が分かった時点で資金のサポートをしてほしい。
		収入ができるだけ手元に残るようになり、収入等で保育料が決まり、働く方がいいのか疑問に思うような事がなくなればよい。
		乳幼児期だけでなく、どのような家庭の子どもにも大学進学や希望の進路に進めるようなサポートにお金を使う事を考えてほしい。
		公的な支援制度が所得制限なしで受けられると、ほしいだけ子どもが産める
		子どもの出産入院費用のサポートがあれば産みたい。
		医療費の援助を18歳まで引き上げてほしい。
		税制での支援。(子どもなし世帯は増税、子ども2人以上だと減税のように)
		年金や税金面における専業主婦の優遇(金銭面における総合的な公的補助)
		子どもはよく病気、けがをするので医療費助成制度は、できれば自己負担をもっと少なくしてもらいたい
		教育費の公的援助の充実(奨学金や寮など含めて)

カテゴリー	件数	主な回答内容
出産、医療、教育への支援 (経済支援)		共働き世帯では保育料、加えて、残業があった場合、延長保育・最悪ベビーシッターの準備が必要な上、子どもの発熱等の突発的な事態に対応する為には、さらに多くのお金が必要となる
		平成27年度の子ども・子育て支援新制度により、多子世帯の負担増が増えている。本市の単独費用負担をかけて少子化対策を実施するのであれば、多子世帯に対する負担増の緩和が必要である。児童手当について、3人目以降を国基準に上乗せして増額し、こういった負担増に対する補てんを進めていくことを提案する。
		教育資金の補助制度を充実化してほしい。(大阪市で行っている塾代助成事業等)
		結婚・出産祝い金。
		妊娠から出産後しばらく(子どもの首が座る、腰が据わるまで)は、移動が車が徒歩に限られるので、タクシー利用時に1割引きや2割引きのような制度があれば。
		児童扶養手当など制限なしで等しく保障されるようにしてほしい。
		世帯の所得に応じて、育児や子どもの教育にかかる費用を補助してほしい。
		保育料は、保育所に兄弟がいる場合に限り、保育料が半額(もしくは無料)になるが、制限を撤廃したほうが、仕事の兼ね合いと出産の計画が立てやすくなる。
		保育料がもっと安いほうがいい
		一人目から保育園を無料にしたほうが、産む際のハードルが低いと思う。一人目だといろいろそろえるものがあり大変だと思う。それに加え、保育園に入れるとなれば、さらにお金がかかってしまう。一人目を産む際の、ハードルを下げるのが大切だと思う。子どもは育てるのにはお金がかかるイメージだと、まずは一人目という気にはならない。
		所得にかかわらず医療費・入院費用の助成。
		保育園の時間延長料を廃止。
		行政の関わり方(行政)
若い家族を支えていける市民サービスにしていってほしい。		
何もかも与えるサポート(支援)ではなく、親が自立して子育てが楽しいと思える支援を進められるといいのではないか。例)長崎県で全市町へ実施推奨した親支援プログラム「NPプログラム」、NPプログラムから発展したファミリープログラム		
民間力も活用しながら「子どもは社会の宝」という視点でサポートを進めてほしい。		
在宅での子育て家庭へのサポート(子育て広場や地域子育て支援センターなど地域での子育て支援施設の充実など)も併せて進めていく必要がある		
保護者が2人とも正規雇用の場合、どのようなサービスでも所得制限がかかると、支払った税金のわりに行政サービスの圏外におかれているような気持になる。		
各種検診のため、保健センターまで連れて行くのは大変。近くの市民センターや公民館などで実施できないものか。		
中長期的には、市議員選挙の若者の投票率を上げることが重要。若い世代の意見を市政に反映させる方法として、若者から選ばれた市議員が増えることが一番の近道。		
フィンランドに母子支援地域拠点「ネウボラ」というのがある。徳島県鳴門市では「鳴門市版ネウボラ」を開設するらしい。妊娠～就学まると支援を目指しているようだ。とてもいい取り組みだと感じた。		
職員はもっと現場に出て事業の効果を把握し、ニーズ把握に努めるべき		
現場にいる専門職からの提案をもっと活発にすべき。専門職が現場で感じている課題を施策の企画立案者が集約して改善につなげているようには到底思えない。		
吹田市の出生率アップが目的であれば、今住んでいる人にもう一人というよりは、市の中でも少子高齢化が進んでいる地域にどのように子育て世代を呼び込むかを検討することの方が効果的		
私立保育園を財政面からも応援する		
歩道上のベンチが子ども向けのデザインだったり、自由にお絵かきができるスペースがあったり、子どもが利用できる遊具やスペースがあれば、子ども世帯を受け入れてくれていると感じることができる。		
ファミサポという制度は、結局親どうしでなんとかしろという制度ではないか。「働け、でも行政に負担かけるな」と言っている世の中だ		

カテゴリー	件数	主な回答内容
子育て施設、公園等	21	幼稚園に入るまでの年齢の子どもが自由に遊べる施設が近所があれば母親が子どもを連れて家の外へ出られる。山田ののびのびプラザのような施設を増やしてほしい。
		のびのび子育てプラザのような施設が南部の方にもあれば相談に行ったり、いつでもいける居場所ができると思う
		小中学生の放課後、夏休み、過ごす場所がとても少ないと思う。児童館などの施設をもっと増やして欲しい
		小さい子(乳児・幼児)を連れて雨の日でも遊べる場所があれば良いと思う。
		公園の整備
		2人目以降の出産で、産後半年は母子ともに支えてもらえる施設があれば、2人目以降を生むハードルが低くなるように思う。
		未来館のような施設も、もっと作って欲しい。先輩ママにいろんなことが聞け、親子での友達作りの場にとってもいい。
		4年生以降は放課後や長期休暇で過ごせる場所が限られるので、安心して軽費で過ごせる場所がほしい
		安心して遊べる施設、知らない子どもが集まって仲良くなれる施設があれば理想的
		「広場」があれば。立派な遊具も建物も不要。空地があれば十分。
野球やサッカーなどができる広場		
病児保育	14	病児病後児室をもっと増やしてほしい自分も夫も両親が他府県に住んでいるので頼れる人がいない。
		いつの時間からでも利用できる病児室がほしい。病後児室もあるが入室できる時間が遅いので利用しにくい。
		病児保育の受け入れ人数や場所を増やす、公的な制度として居宅での病児看護といった制度があり、(利用条件は考えないといけないと思いますが)利用しやすければ、共働き世帯、転勤してくる世帯へのアピールになる。潜在看護師の職場復帰の足掛かりに病児保育といった仕事に就いてもらうことも良いのでは
		病児・病後児保育の利用の申し込みをしても予約いっぱいでは利用できないこともあるし、利用できても内容があまりにひどい。
		土日祝、病児保育をしっかりとってくれる施設が必要
協働の子育て環境づくり(環境づくり)	12	公的責任のもと、安心して生み育てることができる環境設備が必要。
		夫婦がお互いに助け合って、子どもを産み、育てる意識が自然と生まれるような社会、環境整備が必要。
		次世代をつなぐ意味で、子育て世代の親への理解が社会全体で進むことが大切である。
		国策である少子化対策を公務員がより積極的に先んじて進めていかなければならない現状であることは間違いない。
		男性がより家庭に参加できる環境が必要
		男女共同の考え方に「男性の(家庭・地域)社会進出」というものを、広げていくべき。こういう啓蒙活動は、吹田市としてもできること
		夫婦ともに仕事が定時に終わる社会。
		休業しても復職できる、退職しても再就職できるような社会
		育児を母親だけの役割としてとらえず、父親の仕事であるという意識。
		子どもはその親だけのものではなく社会のもの、地域で育てるものという意識。

カテゴリー	件数	主な回答内容
雇用条件の向上(雇用形態)	12	若い人の賃金が増えていないのが根本の要因。若い人を吹田市は正規職員にすべきである。賃金が上がれば、子どもを産む人は増えると思う。
		男性の非正規の人が増えているので正規職員での雇用を市として促進したらいいと思う。男性の仕事が安定していないと結婚もできず、出産にもつながらない
		アルバイトにも産休、育休があればいいと思う。出産で退職になった場合、失業保険がほしい。
		非常勤は、アルバイトよりは、給料も安定して高く、休みもあるものの、生活をするとなると大変。もう少し手取りが増えれば。
		非正規労働者でも最低限の結婚、出産に希望を持てる賃金を確保する
		正規雇用の若者が増えれば、少子化にも歯止めがかかる
		フルタイムで働くことによって、時間がないと感じている。子どもに対してもっと時間を使うべきなのではと後ろめたく感じる時もある。
居住面支援	12	市営住宅、府営住宅などアルバイト生活でも入居できるくらいに下げてほしい。
		子育て世代向けの住宅、家賃補助
		マンションの1階等(EVがなければ)においては補助金を助成して2世帯住宅等を進める。建築協定等により敷地面積の制限のある地域等においても2世帯等の住宅には補助金を使用できるようにする。親族のみならず、シェアハウスといった血縁者以外でも助け合いのできる住宅の形成を進めるといいと思う。
		吹田に住むだけで、特定の世帯には一律の助成(最低でも10万円は必要)を行うのが最も効果的と考える。賃貸物件の家賃補助でもいいが、家賃設定を公平にするためには不動産鑑定等のお金が必要となるため、やはり現金支給が効果的だ。
		空家等を活用し、所有者と入居者をつなげる場合にしても、これまでの空家バンクのような“受け”の体制ではなく、職員が営業に行き、空家等を探してくるぐらいの体制でなければ、うまくいかない。
		吹田市内は家賃が高いので家賃補助があれば吹田で子育てがしたい。
相談窓口	11	子育て、出産について気軽に相談できる場が必要
		子どもができた時に無料で出産までの段取りなど得する情報など教えてくれる場が必要
		子どもができにくいということに悩んでいる人も多数いる。「子どもを授かれずに悩んでいる人」の相談窓口があればいいのでは。
		子育て相談で栄養士さんからいろいろなアドバイスをいただいても、なかなか求めている答えをもらえない。経験からいろいろな見解をお持ちの方がおられると思うが、市の事業で子育ての資料に書いてあることと違うことを言っているのはどうか
		結婚した後のサポート(例えば、夫婦間のトラブル、結婚後何年か経ち環境が変化したことなどへのケア)が必要
		孤立して子育てをするのではなく気軽に相談できる場所が必要
		妊婦になった時から担当保健師がフォローできるようにすること
		教育の相談所が必要
学童保育	10	学童保育の保育時間の延長が必要
		共働きの世帯を援助できるように放課後にきちんと責任を持って子どもたちを預かってもらえる場の提供をしてほしい。地域のつながりが希薄になっている今、行政がそういった部分で進んで取り組んでもらいたい。
		保育時間の延長(保育園と同様に7時まで)が必要。4年生以上になると長期休暇の過ごし方が大きな問題。
		小学6年生までの「学童保育」を市の制度とする。
		土日就業している家庭に向けたサポート。時間延長。

カテゴリー	件数	主な回答内容
出会い機会創出	9	詐欺等があるので、安心して参加できるように吹田市が婚活をすべき
		晩婚化が少子化にも影響していると思うので、出会いづくりの若者向けのフェスティバルみたいなものを企画すべき
		主に吹田市を拠点にしている、お見合い仲人や結婚相談所業者を審査のうえ、適正と認めた仲人や業者を吹田市ホームページに掲載する
イベント・集い	8	育児教室のようなサポートの充実が必要。
		同じぐらいの子どものいる人達、子育て経験した人などと集まって気軽に悩みを話せる場所があったら孤独感がなくなり子育てが楽しくなるのでは。
		高齢者と交流ができる施設が必要。
		神戸の「しあわせの村」のように障がい者が働く場にもなって集える施設が必要。
		専業主婦の子育てサークル等を市の制度とし紹介する。
情報発信	8	乳幼児期の子育て支援の場の情報を発信できる方法を増やすべき。
		教育資金のサポートについて知りたい。
		保育情報の提供が必要。
		教育に関して各自治体がどのようなところに力を入れているのかわかりやすくまとまっているようなものが必要。
		学校等にいるときの子どもの様子ももっと知れた方が子育てしやすい。
		子育ての不安と経済的な不安を解消するため、どんなサポートがあるのか、正確で、最新で、自分の場合に当てはまる情報が容易に得られる環境が必要。
		栄養が高く簡単にできるレシピ、作り置き出来るレシピを保健センターや栄養士などから発信することが必要。
賃金	8	共働き世帯が自立して生活するには、もっと多くの収入が必要
		若手男性職員については、特に給与面から共働きにならざるを得ない傾向がある。妻と子ども1人をこの金額で養っていくことは、生活保護の水準とほぼ変わらない。
		給料をもう少しあげてほしい。
		子どもを育てるにはお金がかかる。(教育費、保育料など)今の収入でたくさんの子供を作ろうとは到底思えない。
		賃金も削減されて、結婚すらできない状態である。
不妊治療	7	不妊治療をしていると急に受診しないといけない時がある。その時に休みが取りにくいので、うまく受診できなかった。
		不妊治療専門のクリニックへ通っているが、年次休暇を使用すると、通院でしか休暇を使えず、レジャーや体を休めるために休暇を使うことが難しい。予約票もしくは、領収書の貼付で特別休暇を設けていただくことができれば。
		妊活休暇が取得できるようにしてほしい。安心して出産できるようにゆったりと過ごしながら妊娠したい。
		高齢出産になり、不妊治療している職員も多いが、高額で、何人も出産というのが難しい。不妊治療への保険適用や、費用補助を増額してほしい。
就労支援	7	就労サポートをもっとしてほしい。
		産後復帰の雇用の相談の場がほしい。
		子育て後の社会復帰に対するサポート体制を充実してほしい。
教育面支援	7	不登校の子に対するサポート、フリースクールも義務教育に。
		学校の施設を利用してピアノや英語教室等の習い事ができる場を民間に委託するなどして開設する。
		子育てに関する相談や、子どもの進路の相談にもってほしい。
		塾代、予備校代が高いことが教育資金の大きな負担になっているので、退職された学校の先生方が教える教室等を公民館などで開いたらどうか。親は教育資金の負担が減り、退職された先生の雇用につながるメリットがある。
		教育が可能な限り受けられる環境づくりが大切。(子どもの可能性に対応できる制度等が充実すれば安心)

カテゴリー	件数	主な回答内容
学校等施設	5	市民プール2か所の廃止。利用者が少なくなったと云う理由を1つに挙げているが、少子化だから当たり前、口先だけのサポートであれば関係各所に対してどのような協議を積み重ねてきたのか不思議に思う。
		学童保育の施設が2階建てにもかかわらず、避難はしご等がなく避難経路が確保できていない。
		施設の老朽化に対する改善(トイレが汚いこと)すべき。
		ICタグによる管理を全校で実施すべき。
		地域にもっと開かれた学校にすべき。
結婚・育児の考え方	5	結婚に対して前向きな人が減ってきている。
		家族の中に子どもがいる事の幸せ、感じる心の充実感を素直に伝える場があれば自分たちも子どもを持つと考えるのではないだろうか。
		そもそも今は昔ほど子どもをみんなほしいと思っていないのでは。
		晩婚化による少子化が進んでいるだけでなく、結婚をしない人が増えてきており、子どもが生まれにくい社会になってきている。
		少子化を悲観しすぎているのではないか。
地域の支援	5	安心して子育てができる、安全な地域づくりが地域の方達とできるなど。
		地域として子どもたちを見守れる自治会組織及び商店など。
医療	3	乳幼児期の医療の充実が必要。
		安心してお産ができる病院が必要。
		小児救急医療を吹田で復活させる。
学校教育	3	もっとも重要なことは、やはり教育。きちんとした教育を受けた子どもたちが、やがて大人になって、働き出して、子どもを産み育て、またその子どもたちがといったように、長い時間を要したとしても、結局は一番の近道。人は何のために生きるのか、子どもはなぜ必要なのかということにきちんと向き合える人が増えていったら、必ず変わる。
		ちゃんとしていて、任せられる学校教育。
		塾等がいない教育体制。
身内の支援	3	近距離に両親が居住し、育児の応援が可能であること。
		仕事と子育ての両立は、親や家族の理解やサポートがなければ難しい
安全対策	2	治安の面で心配。
		通学路における安全確保措置を講じてほしい。
教育現場支援	2	学校支援。先生と家庭をつなぐサポーターが必要。先生と子どもを支援する、スクールカウンセラーとケースワーカーの役割を合わせもった方が必要
		学校の先生が、子どもに向かい合う時間が持てる職場環境であれば、いつでも相談できる。

## 參考資料

# 資料1 アンケート調査票

## 少子化対策に関する職員意見募集

※個人を特定できる形で集計することはありません。

**質問** あなたはどのようなサポートがあれば、子どもを生み、育てたい(生み、育てたかった)と思いますか。  
また、市民が結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。

(例) 子どもの教育資金のサポートがあれば、もう一人生みたい。  
妊娠から出産、子育てについて相談できる場がほしい。  
市民と接していると、小中学生の居場所や教育をサポートしてもらえる場所に対するニーズが高まっているように感じる・・・等

家庭や職場で日頃感じていることを自由にご記入ください。

所属室課名

例)企画政策室、●●小学校

年齢

- ① 20代以下    ② 30代    ③ 40代    ④ 50代    ⑤ 60代以上

回答欄

性別

- ① 男    ② 女

回答欄

雇用形態

- ① 職員    ②再任用職員    ③非常勤職員    ④臨時雇用員

回答欄

未婚・既婚等の状況

- ① 結婚していない    ② 結婚している    ③結婚していた

回答欄

子どもの人数

- ① 0人    ② 1人    ③ 2人    ④ 3人    ⑤ 4人    ⑥ 5人以上

回答欄

以上で終了です。御協力いただき、ありがとうございました。

## 資料2 単純集計結果

あなた御自身のことについて、お答えください。(項目ごとに1つ○)

### 【年齢】

調査数	202	100.0%
20代以下	27	13.4%
30代	65	32.2%
40代	60	29.7%
50代	44	21.8%
60代以上	4	2.0%
無回答	2	1.0%

### 【性別】

調査数	202	100.0%
男性	70	34.7%
女性	127	62.9%
無回答	5	2.5%

### 【雇用形態】

調査数	202	100.0%
職員	161	79.7%
再任用職員	1	0.5%
非常勤職員	10	5.0%
臨時雇用職員	28	13.9%
無回答	2	1.0%

### 【未婚・既婚等の状況】

調査数	202	100.0%
結婚していない	56	27.7%
結婚している	135	66.8%
結婚していた	8	4.0%
無回答	3	1.5%

### 【子どもの人数】

調査数	202	100.0%
0人	75	37.1%
1人	33	16.3%
2人	66	32.7%
3人	21	10.4%
4人	4	2.0%
5人	1	0.5%
無回答	2	1.0%

### 資料3 自由意見の分析結果

ノンパラメトリック(Kruskal Wallis 検定)検定結果※漸近有意確率<0.05 であれば有意

	検定結果	年齢別	性別	未婚・既婚等の 状況別	子どもの人数別
保育園、預かり施設	カイ2乗	5.888	3.334	2.475	9.133
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.117	0.068	0.290	0.028
病児保育	カイ2乗	6.307	0.938	0.632	2.407
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.098	0.333	0.729	0.492
子育て施設、公園等	カイ2乗	11.894	5.132	9.290	19.272
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.008	0.023	0.010	0.000
イベント・集い	カイ2乗	9.070	0.153	2.398	3.888
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.028	0.696	0.301	0.274
学童保育	カイ2乗	2.979	1.642	0.469	2.873
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.395	0.200	0.791	0.412
教育面支援	カイ2乗	2.350	0.013	0.753	10.344
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.503	0.909	0.686	0.016
行政の関わり方 (行政)	カイ2乗	7.908	3.238	1.641	1.392
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.048	0.072	0.440	0.707
協働の子育て環境づくり (環境づくり)	カイ2乗	1.009	0.325	1.956	2.220
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.799	0.568	0.376	0.528
居住面支援	カイ2乗	3.025	1.829	16.292	3.524
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.388	0.176	0.000	0.318
出産、医療、教育への支援 (経済支援)	カイ2乗	1.440	0.901	1.373	3.238
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.696	0.342	0.503	0.356
雇用条件の向上 (雇用形態)	カイ2乗	1.562	0.345	5.303	5.107
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.668	0.557	0.071	0.164
賃金	カイ2乗	2.331	7.938	0.968	7.102
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.507	0.005	0.616	0.069
職場の体制	カイ2乗	2.101	3.313	0.252	3.137
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.552	0.069	0.882	0.371
相談窓口	カイ2乗	0.854	0.325	1.947	3.072
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.836	0.568	0.378	0.381
情報発信	カイ2乗	1.224	0.874	0.346	3.040
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.747	0.350	0.841	0.386
出会い機会創出	カイ2乗	4.255	0.325	1.472	2.873
	自由度	3	1	2	3
	漸近有意確率	0.235	0.568	0.479	0.412

# 数量化Ⅲ類分析結果

固有値等

	次元1	次元2	次元3	次元4	次元5	次元6	次元7	次元8	次元9	次元10	次元11	次元12	次元13	次元14	次元15
固有値	0.7324	0.6656	0.5917	0.5459	0.5231	0.5085	0.4871	0.4818	0.4563	0.4349	0.3959	0.3572	0.2829	0.2594	0.0997
寄与率(%)	10.73	9.76	8.67	8	7.67	7.45	7.14	7.06	6.69	6.37	5.8	5.24	4.15	3.8	1.46
累積寄与率(%)	10.73	20.49	29.16	37.17	44.83	52.29	59.43	66.49	73.18	79.55	85.35	90.59	94.74	98.54	100

カテゴリの得点

	(分散正規化)														
カテゴリ名	次元1	次元2	次元3	次元4	次元5	次元6	次元7	次元8	次元9	次元10	次元11	次元12	次元13	次元14	次元15
保育園、預かり施設	-0.0845	-0.2339	-0.5658	1.242	-0.2936	-0.2083	-0.1679	-0.8022	-0.5681	0.2661	-0.3135	-0.6978	-0.2911	-0.0882	0.001
病児保育	-0.4684	-0.7545	2.5008	-0.835	-1.5564	-0.0288	-3.0768	0.3097	0.519	0.3294	-1.5075	-0.5771	0.1797	1.2675	-0.0877
子育て施設	-0.4331	-0.5487	1.8904	-0.4692	-1.1105	0.5251	1.0751	0.3901	-1.0921	-0.4142	0.415	0.4953	-1.7111	-2.6255	0.1436
イベント・集い	-0.3746	-0.5727	1.3648	0.5562	-0.7643	0.436	-0.3223	-0.7386	-0.0586	-0.2893	6.3398	-0.8162	0.7681	2.0251	-0.1207
児童保育	0.0218	-0.6712	0.038	0.275	-0.2332	-0.1319	-0.2583	-0.234	1.7289	-0.026	0.1551	-0.362	4.4793	-3.2511	-0.0078
教育面支援	-0.4157	-0.855	1.3084	-0.6823	-1.3694	-0.5252	4.0537	-0.1396	-3.2441	-1.4431	-1.8151	0.5399	3.3532	3.006	-0.1067
行政	-0.2929	-0.3684	-0.1074	1.3579	-0.0096	0.9882	-0.1739	-0.1201	0.9173	-0.1928	-0.1574	3.1824	-0.0399	0.5507	0.0269
環境づくり	-0.3854	-0.7216	-2.3291	0.6121	-0.7345	1.4435	-0.868	4.716	-0.7621	-2.1563	0.2158	-1.0173	0.1546	0.1509	-0.0231
居住面支援	-0.3518	0.968	-0.0383	-1.3319	2.7673	1.6582	-1.4985	-2.1235	-1.176	-3.4146	-0.2271	-0.1576	0.1779	-0.3191	-0.1791
経済支援	-0.1073	-0.3157	0.0514	-0.4088	0.4169	0.1709	0.7076	0.0056	1.4836	-0.2093	-0.2337	-0.7103	-0.4956	0.3993	0.0123
雇用形態	5.2887	-0.0744	0.1093	-0.3529	-0.462	0.2425	-0.1513	0.0363	-0.173	-0.2658	0.0801	0.2545	-0.11	0.0967	-0.0538
賃金	-0.4946	0.9535	-2.1768	-2.8706	-1.6613	4.3447	0.2001	-0.9301	-0.7703	3.4832	0.0522	-0.0582	0.5352	0.1422	-0.0349
職場の体制	-0.1822	-0.2649	-0.6068	-1.0111	0.4784	-1.3077	-0.3159	0.2295	-0.3884	0.4168	0.3028	0.6079	-0.0598	-0.0498	0.0373
相談窓口	0.1195	1.7206	1.4189	0.8714	1.9724	0.5172	0.0391	1.2123	-0.6565	1.2827	-0.0724	-0.3402	0.5523	0.2158	0.4359
情報発信	0.0269	1.8085	1.2811	0.8315	1.6506	0.282	0.196	1.2324	-0.5127	1.2653	-0.0707	-0.1854	0.3291	-0.0192	-0.3049
出会いの機会創出	-0.3585	4.8187	-0.5612	-0.1785	-2.9668	-1.5165	0.1797	-0.1369	1.1245	-1.4543	0.1387	0.3264	-0.1043	-0.0059	0.2827

【年齢別】

固有値等

	次元1	次元2	次元3	次元4	次元5	次元6	次元7	次元8	次元9	次元10	次元11	次元12	次元13	次元14	次元15	次元16	次元17	次元18	次元19
固有値	0.5313	0.4646	0.4589	0.4244	0.409	0.3517	0.3326	0.314	0.3111	0.3033	0.2707	0.2652	0.2461	0.2382	0.2058	0.1921	0.1603	0.0824	0.0601
寄与率(%)	9.45	8.26	8.16	7.55	7.27	6.28	5.92	5.59	5.53	5.4	4.81	4.72	4.38	4.24	3.66	3.42	2.85	1.47	1.07
累積寄与率(%)	9.45	17.72	25.88	33.43	40.7	46.96	52.88	58.46	63.99	69.39	74.2	78.92	83.3	87.54	91.2	94.62	97.47	98.93	100

カテゴリの得点

	(分散正規化)																		
アイテム名	次元1	次元2	次元3	次元4	次元5	次元6	次元7	次元8	次元9	次元10	次元11	次元12	次元13	次元14	次元15	次元16	次元17	次元18	次元19
第1群																			
保育園、預かり施設	-0.3231	-0.0352	0.313	-0.623	-0.4305	-0.1958	-0.4049	0.5369	-0.4044	-0.8145	-1.1825	-0.7649	-0.0459	-0.0808	0.3284	-1.0649	0.1846	1.0275	-0.1665
病児保育	2.0952	-0.1157	-0.3796	0.8996	0.3485	-1.0074	-0.6079	-2.8254	-0.2248	-2.3992	1.2849	-1.053	-3.341	-0.8693	-0.2118	0.5033	-1.412	0.8263	-0.2295
子育て施設	1.7994	-0.3647	0.081	0.9437	-0.2628	-0.8532	0.2032	0.4485	1.306	-0.6296	0.4155	-0.6599	0.3396	0.4623	-1.1417	0.1366	3.8669	0.4082	0.2207
イベント・集い	0.6256	-1.7685	0.6834	-1.0008	-1.2053	-1.6406	0.5348	-1.6251	0.3108	-1.6039	2.3739	-2.3668	5.7897	2.9762	-0.0681	0.2773	-3.1848	0.2946	-0.2242
児童保育	0.5609	-0.2689	-0.8285	-1.1067	0.0115	-1.7041	-1.2888	-0.4221	-0.0258	-1.1772	0.0859	2.0695	0.2484	1.4346	5.8614	2.3291	2.2055	-0.8578	0.6111
教育面支援	1.6973	-0.4176	0.3152	0.059	-0.249	-0.2915	6.0088	4.0632	0.1129	0.8853	-1.3635	-1.2458	-1.9939	0.0144	2.4279	2.491	-3.8149	0.1914	-0.1953
行政	0.261	-0.9694	0.067	-0.5483	-0.7336	-0.7708	-1.5076	0.4342	1.2602	0.0139	-1.6887	1.0866	0.4189	-0.9146	-1.8245	2.76	-0.602	0.3256	0.0458
環境づくり	0.4448	0.7218	-0.0944	-1.5414	-0.452	1.8616	-2.9392	2.836	3.4144	1.2126	3.2467	-2.1915	-1.8255	2.1467	0.2054	0.2097	-0.1751	0.4728	-0.1141
居住面支援	-0.5126	-0.5235	-0.6002	0.8151	-0.5836	0.9522	0.2306	-3.4151	0.3675	3.54	-2.7753	-1.8525	-1.0149	0.3493	0.7127	0.4399	0.3974	-0.3152	-0.1526
経済支援	0.1416	-0.2519	-0.3323	-0.026	-0.6328	0.4901	-0.1766	0.2444	0.6702	0.5684	1.9899	-0.2992	0.8504	-0.3496	-0.9656	-0.484	0.8877	-0.1246	-0.1246
雇用形態	-1.237	-0.4779	1.5126	0.2656	5.8303	0.0571	0.0399	-0.2151	0.969	-0.1277	-0.1431	-0.0614	0.2978	0.376	0.1711	0.7504	0.0654	1.1848	-0.2623
賃金	-1.1183	1.4393	-0.9327	-0.6732	-0.7273	3.0423	0.0394	-2.6778	5.4226	-1.1339	-0.3936	0.3214	1.6011	-3.6632	1.97	-0.8139	-0.4656	0.4554	-0.2367
職場の体制	0.2172	0.7102	-0.1209	-0.3179	-0.0143	0.7099	0.0349	-0.1679	-1.3647	0.829	0.8503	-0.2508	0.6072	-0.9186	0.0451	0.8909	0.3569	0.8946	-0.0692
相談窓口	-1.1071	-0.2078	0.0403	3.8988	-0.4985	-1.2887	-1.0524	0.7315	0.5667	1.1216	0.3829	-0.4356	0.2372	-1.1546	1.2379	-0.507	-0.5035	0.9445	5.762
情報発信	-1.1297	-0.1382	-0.2194	3.4067	-0.4695	-0.9048	-0.7739	0.9237	0.291	0.5806	0.4581	-0.1333	0.2321	-0.9151	0.5982	-0.1922	0.0086	-0.4534	-3.9819
出会いの機会創出	-1.5548	-1.5672	-1.8586	2.2995	-0.0748	4.5704	0.409	0.8475	-1.1426	-3.164	0.0164	1.8213	-0.2564	2.4642	-0.6629	1.1954	-0.0468	1.0091	0.424
第2群																			
年齢20代以下	-1.5441	2.8981	1.4589	0.1327	-0.8919	-0.4879	0.4594	-0.2753	-0.1205	-0.9328	0.0179	0.0053	-0.4335	0.8984	-0.6532	0.8682	-0.0283	-1.4094	0.3305
年齢30代	-1.0047	-0.4939	-1.6341	-0.6531	0.8059	-0.5464	0.2806	0.095	-0.1264	-0.1015	0.2214	-0.6243	-0.1228	-0.2826	-0.4054	-0.0966	0.0486	-1.1422	0.2482
年齢40代	1.7355	0.7568	-0.218	0.4562	0.6683	0.6232	-0.539	0.2281	-0.0926	0.0889	-0.7607	0.3035	0.5823	0.1591	-0.0447	-0.707	-0.4268	-1.1875	0.1396
年齢50代以上	-0.0739	-1.7353	1.7161	-0.3181	-0.8051	0.7396	0.1222	-0.3038	-0.3103	0.3103	0.547	0.3097	-0.4823	-0.5245	0.1515	-0.415	0.1888	-1.3267	0.1152

【性別】

固有値等

	次元1	次元2	次元3	次元4	次元5	次元6	次元7	次元8	次元9	次元10	次元11	次元12	次元13	次元14	次元15	次元16	次元17
固有値	0.5331	0.4368	0.4168	0.3766	0.3407	0.3199	0.3116	0.2985	0.2876	0.2661	0.2509	0.2493	0.2032	0.1877	0.1592	0.0792	0.0644
寄与率(%)	11.15	9.13	8.72	7.88	7.13	6.69	6.52	6.24	6.01	5.56	5.25	5.21	4.25	3.93	3.33	1.66	1.35
累積寄与率(%)	11.15	20.28	29	36.88	44	50.69	57.21	63.45	69.47	75.03	80.28	85.49	89.74	93.67	97	98.65	100

カテゴリの得点

	(分散正規化)																
アイテム名	次元1	次元2	次元3	次元4	次元5	次元6	次元7	次元8	次元9	次元10	次元11	次元12	次元13	次元14	次元15	次元16	次元17
第1群																	
保育園、預かり施設	-0.4451	-0.285	0.2823	-0.7838	-0.5069	-0.2661	-0.4789	-0.5697	-0.2611	-1.1356	-0.7599	-0.9041	-0.6214	-0.5318	0.2902	1.0293	-0.0697
病児保育	-0.6126	-0.6621	-1.4299	2.6797	1.0066	3.2371	-2.3312	1.5098	-0.2716	-0.6336	0.9156	-2.2073	-0.1859	0.6358	-2.0163	0.8339	-0.2482
子育て施設	-0.8254	-0.5417	-1.5923	2.2493	0.7311	-1.6404	-0.6561	0.5318	0.8431	0.2708	0.4869	-					

【子どもの人数別】

固有値等

	次元 1	次元 2	次元 3	次元 4	次元 5	次元 6	次元 7	次元 8	次元 9	次元 10	次元 11	次元 12	次元 13	次元 14	次元 15	次元 16	次元 17	次元 18	次元 19
固有値	0.5708	0.4925	0.4672	0.42	0.3849	0.3525	0.3291	0.3112	0.3099	0.297	0.2799	0.2605	0.2468	0.2301	0.199	0.194	0.1551	0.0829	0.0598
寄与率(%)	10.12	8.73	8.28	7.44	6.82	6.25	5.83	5.51	5.49	5.26	4.96	4.62	4.37	4.08	3.53	3.44	2.75	1.47	1.06
累積寄与率(%)	10.12	18.84	27.12	34.56	41.38	47.63	53.46	58.98	64.47	69.73	74.69	79.31	83.68	87.76	91.29	94.72	97.47	98.94	100

カテゴリーの得点

(分散正規化)

アイテム名	カテゴリー名	次元 1	次元 2	次元 3	次元 4	次元 5	次元 6	次元 7	次元 8	次元 9	次元 10	次元 11	次元 12	次元 13	次元 14	次元 15	次元 16	次元 17	次元 18	次元 19
第1群	保育園、預かり施設	-0.4026	0.1206	-0.0612	-0.7009	-0.2719	-0.7158	-0.5882	-0.8516	0.4165	-0.2453	0.1296	-0.9781	-0.0994	0.0447	-0.3407	-1.284	0.1297	1.038	-0.1966
	病児保育	0.9965	0.2651	0.926	0.3097	0.5136	-2.046	3.2285	0.8108	-1.7013	2.8178	-0.2764	-2.0815	-1.2426	-0.7219	-0.0968	0.4264	-1.5843	0.8478	-0.2854
	子育て施設	1.6214	0.3254	1.1778	0.8463	0.5263	-0.5403	1.1727	0.1075	2.2173	0.367	-0.3217	0.3301	0.3224	0.0826	-1.3132	0.6885	3.8838	0.3379	0.2153
	イベント・集い	0.2015	0.668	1.2972	-0.2371	0.1227	-2.8552	1.2331	0.1107	1.0591	-0.5339	-0.4763	2.5024	7.0325	-0.9232	0.9562	-0.5261	-2.4919	0.3028	-0.303
	学童保育	0.3659	0.8424	0.1479	-1.1336	0.0607	-1.8806	-0.3055	0.3358	-0.9614	0.5861	1.7979	2.4358	-1.7592	-1.6705	5.4496	-1.5719	2.3529	-0.7704	0.066
	教育面支援	2.4487	-1.2058	0.4857	0.9989	-0.153	1.0496	0.6454	-3.1353	5.3119	-1.8063	-0.9463	-0.8587	-2.2932	-2.4011	3.0952	2.2397	-3.4634	0.1275	-0.1715
	行政	0.3398	0.3295	0.0045	-0.3227	-0.0999	-1.3865	-1.8739	1.0918	0.2749	-0.024	1.6164	-0.895	0.2089	1.9799	0.6328	2.8283	-0.3186	0.3028	0.0289
	環境づくり	0.5714	0.9409	-0.0414	-1.9194	-0.3913	2.0746	-3.431	2.1574	0.5446	3.4168	-2.9655	-0.7726	1.0189	-3.3413	0.1962	0.7608	0.2469	0.4303	-0.1146
	居住面支援	-0.3182	1.1406	0.2326	0.8322	-0.2601	1.3105	1.0901	2.5475	-1.3858	-4.2397	0.6449	-2.88	0.9169	-2.4632	0.8004	0.3767	0.989	0.3879	-0.3296
	経済支援	0.4068	-0.4377	-0.354	0.1259	-0.2338	-0.1825	-0.2219	0.6538	-0.3286	-0.5255	0.3839	1.6252	-0.7874	-0.7559	-1.1656	0.1847	-0.5401	0.8741	-0.1083
	雇用形態	-2.0611	-3.196	1.5243	-0.9811	4.7419	1.8954	0.2953	0.7241	0.5269	0.5386	1.4043	0.017	0.4345	0.0862	0.5662	-0.0412	-0.0282	1.2137	-0.3455
	賞金	-1.248	0.0784	-1.1216	-0.6058	-2.8526	1.8077	2.5787	4.7841	3.7112	-0.7733	-0.1938	0.4923	-0.6783	3.1592	1.291	-2.3485	-0.9841	0.5292	-0.2466
	職種の体制	0.2004	0.1346	-0.5865	-0.3802	-0.0874	0.8861	0.5962	-0.8314	-0.9805	-0.1775	-1.0808	0.4043	0.2808	0.9479	0.6855	0.6516	0.3391	0.8802	-0.0703
	相談窓口	-1.1071	0.8035	-0.0791	3.7536	1.3765	-0.5959	-1.2862	0.5997	-0.0357	0.0571	-1.6114	0.0202	-0.3539	0.4636	0.8367	-0.9961	-0.58	1.0634	5.2695
情報発信	-1.091	0.6819	0.1396	3.3191	0.779	-0.3766	-1.1669	0.1538	-0.042	0.284	-1.2655	0.2897	-0.3996	0.5704	0.4385	-0.4653	-0.0496	-0.5302	-3.9581	
出会い機会創出	-1.785	0.5478	1.3158	2.4668	-3.1285	2.7393	0.3196	-2.0449	-0.2707	2.6292	3.9679	0.1923	1.2146	-1.108	0.0707	0.7025	0.1961	1.1073	0.3331	
第2群	子どもの数0人	-0.8684	0.1867	-1.6018	-0.1537	0.3845	-0.219	0.4866	-0.2774	0.3448	0.2406	0.2035	-0.1074	0.1159	-0.4801	-0.3658	0.4105	0.0959	-1.2812	0.2253
	子どもの数1人	-1.5746	-1.2469	2.1286	-0.5136	-1.3905	-0.5543	0.0228	-0.0408	-0.3385	-0.4746	-1.2376	0.1581	-0.5007	0.0394	-0.1806	0.6313	0.1751	-1.3554	0.4053
	子どもの数2人	0.8858	1.2176	0.9591	-0.3639	0.5643	0.8653	-0.1589	-0.1357	-0.2001	-0.1304	0.4133	0.1372	-0.1875	0.5418	-0.3979	-0.6586	-0.6193	-1.1552	0.1807
	子どもの数3人以上	2.0844	-2.8614	-0.7997	0.9731	-0.7171	0.2102	-0.5748	0.2037	-0.7233	0.3101	0.2548	-0.8817	0.9615	0.3344	0.2636	-1.1146	0.2071	-1.1284	0.133